



# 現業評議会ニュース VOL.40-1

## 【病院現場・保育調理現場】 省庁要請を踏まえ 職種別ウェブ学習会 現場からの取り組みを

現業職員の職種は数多く存在し、職種によって現場の課題が異なっているため、現業評議会では、職種に応じた部会を設置し、課題解決にむけ取り組みを進めている。政策集会などを通じ、各職種の取り組みを進めているが、職種によっては一般現業部会として対応しているため、全国の課題共有や十分な議論に至っていない状況もある。こうした課題を解決するため、職種ごとの省庁要請の取り組みや各現場の意見交換、今後の取り組みを進めるため、職種別ウェブ学習会を実施した。

5月17日に開催した病院現場のウェブ学習会では、一般現業部会の濱田幹事（看護補助）から、厚生労働省の要請項目について説明や病院現場における看護補助の課題などについて説明がされた。その後の意見交換では、看護補助や病院調理員の処遇改善にむけ、意見が出された。現業評議会では今後、予定している厚生労働省の要請行動に反映していくとし、ウェブ学習会を終了した。

保育調理現場のウェブ学習会は5月23日に一般現業部会の貫名部会長（保育調理）から子ども家庭庁に対する要請項目について学習会が行われた。

学習会では子ども家庭庁の予算状況について現場実態が十分反映されていない点や今後の取り組みについて提起がされた。

職種別ウェブ学習会については、「動画まとめサイト」にアップしている。（1面下段参照）

### 病院現場が抱える課題

- 経営形態の変化
- 新興感染症による業務への影響
- タスクシェア・タスクシフトによる業務の繁忙化
- 慢性的な人員不足
- 雇用の多様化



大阪市従 濱田

看護補助の現状を述べる濱田さん（写真上）

### 各議会での取り組みを

自治労自治体議員連合の全国学習会が5月21日に自治労会館で開かれ、現評課題として吉村現業局長が現業職場の課題について提起した。

学習会では、現業職場の安易な民間委託により、民間事業者の破産申請などが生じ、地域公共サービスに影響を与え、住民にしわ寄せがきていることを述べた。民間委託が人件費や物価の高騰により、必ずしもコスト削減には繋がらず、災害時では多くの課題が報告されていることにふれ、現場で課題が生じている際は、委託から直営に戻すことが必要と提起した。

最後に総務省は再公営化について自治体判断との認識であることから、現業職場の維持・拡充にむけ、各議会での取り組みをお願いした。



### 背景1 保育所調理業務は、なぜ

- ▶ 食物アレルギー対応
- ▶ 細分化と子どもの成長に応じ期間が延伸している離乳食対応
- ▶ 宗教食
- ▶ 医療的ケア等の配慮食
- ▶ 特別保育事業対応（病後児、一時預かり、休日、夜間など）
- ▶ 食育活動
- ▶ 異物混入などの事故に対する厳格化
- ▶ 老朽化・狭いスペースでの作業 など



貫名

これらの要因により、業務内容は、複雑・高度化している。

### 住民アピール行動での活用を

現業評議会では、清掃職員と学校給食調理員と学校用務員の業務を知ってもらうため、ドキュメンタリー動画を作成した。どのような業務を担い、また「どんな想いを抱いて仕事に関わっているのか」を現業職員に密着したドキュメンタリー動画。多くの人たちに私たちの業務を知ってもらうため、YouTubeの一般公開としてアップしています。各単組、各県本部でも活用と周知をよろしくお願いします。

### ありったけの現場力



学校給食調理員



学校用務員



清掃職員

